

2019年1月31日
日本板硝子株式会社

2019年3月期 第3四半期連結決算報告 (2018年4月1日~2018年12月31日)

- 2019年3月期第3四半期は、急減速した欧州自動車用ガラス市場を除き総じて安定的に推移した市場環境を反映し増収、営業利益は前年並み
- 金融費用の削減、持分法投資利益の改善等により、当期利益は大幅改善
- 2019年3月期通期は、市場環境の変化を反映し売上・営業利益予想を修正するも、当期利益予想は変更せず、営業利益、当期利益とも増益を維持
- 営業利益6期連続増益に向け、VA化、効率改善、コストダウンを継続して実施

2019年3月期第3四半期は、急減速した欧州自動車用ガラス市場を除き増収、営業利益は前年並み

- グループ売上高は4,595億円と増収（前年同期4,453億円*）
- 無形資産償却前営業利益は、欧州自動車市場の急激な変化、エネルギー関連コストの上昇や南米の通貨安等の影響を受け、前年並みの272億円（前年同期275億円*）

	売上高		無形資産償却前営業利益	
	FY19 Q3	FY18 Q3	FY19 Q3	FY18 Q3
建築用ガラス事業	1,867億円	1,796億円	184億円	205億円
自動車用ガラス事業	2,350億円	2,283億円	91億円	76億円
高機能ガラス事業	367億円	367億円	64億円	49億円

当期利益は大幅改善

- 親会社の所有者に帰属する当期利益は、金融費用削減に加え、持分法投資利益の改善や前年の一過性の税金費用が発生しなかったことにより、前年比122億円増の105億円（前年同期△17億円*）

2019年3月期通期業績予想は、業績予想市場環境の変化を反映し、売上・営業利益予想を修正するも、当期利益予想は変更せず、営業利益、当期利益とも増益を維持

- 親会社の所有者に帰属する当期利益は当初予想の140億円から変更なし
- 無形資産償却前営業利益は、欧州自動車市場環境の急激な変化、南米通貨安、エネルギー関連コスト上昇を反映し、390億円へ修正するが、前年比では増益を維持（前年度通期377億円）
- 営業利益6期連続増益に向け、VA化、効率改善、コストダウンを継続して実施

*：IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」の適用により、修正再表示を行っております。

<2019年3月期第3四半期 連結決算説明資料より抜粋>

連結損益計算書

(億円)	2018年3月期 4月-12月期 *1	2019年3月期 4月-12月期
売上高	4,453	4,595
無形資産償却前営業利益	275	272
償却費 *2	(15)	(15)
営業利益	260	257
個別開示項目	(25)	(33)
金融費用 (純額)	(112)	(102)
持分法による投資損益	17	49
税引前利益	140	171
当期利益 (損失)	(4)	114
親会社の所有者に帰属する当期利益 (損失)	(17)	105
EBITDA	468	467

*1: IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」の適用により、修正再表示を行っております。
*2: ビルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却

当期利益が前期比大幅に増加

2019年1月31日 | 2019年3月期第3四半期決算報告

2019年3月期 通期業績予想の見直し

(億円)	2018年 3月期 通期実績 *1	2019年 3月期 通期業績 予想 (当初)	2019年 3月期 通期業績 予想 (最新)	差異
売上高	5,989	6,300	6,200	(100)
無形資産償却前営業利益	377	430	390	(40)
償却費 *2	(20)	(20)	(20)	
営業利益	357	410	370	(40)
個別開示項目	(13)	(70)	(60)	10
金融費用 (純額)	(146)	(130)	(130)	
持分法による投資損益	24	30	60	30
税引前利益	222	240	240	
当期利益	79	160	160	
親会社の所有者に帰属する当期利益	62	140	140	

最新見直しを反映

当初予想から変更なし

営業利益は急激な市場変化を反映、最終利益は当初予想から変更なし

*1: IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」の適用により、修正再表示を行っております。
*2: ビルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却

2019年1月31日 | 2019年3月期第3四半期決算報告

決算関係問い合わせ先:

● IR部: 03-5443-0100

報道関係問い合わせ先:

● 広報部: 03-5443-9477